

第34回 九州胃拡大内視鏡研究会

テーマ 「興味ある症例」



■日時	2026年2月28日(土) 13:00-17:00
■配信方式	WEB配信
■申込方法	(詳細は裏面参照 ※右QRコードからでも可)
■参加費	¥2,000 (webお申込の場合、クレジット決済)

代表世話人メッセージ

福岡大学筑紫病院

八尾 建史

- ・本会は、VS classification systemの診断体系とMESDA-Gに基づく用語を用い拡大内視鏡の診断を恒常的に行う先生の参加を原則としています。
- ・前回より、3回にわたり「胃拡大内視鏡所見・読み方シリーズ」と題したミニレクチャーを行っています。今回は、最終回である第3回で、「Microsurface pattern」です。私が実際の内視鏡画像を呈示し皆さんに講義をします。奮ってご参加下さい。
- ・また、自己免疫性胃炎に特徴的な胃拡大内視鏡の新知見Glous-like lesionについて発見したロシアの内視鏡医Roman Kuvaev先生に講演して頂きます。この分野のホットな知見で楽しみです。

—プログラム—

1【演題】

「病変内の異型度の違いをNBI拡大観察にて評価し得た腺窩上皮型胃癌の1例」

石川県立中央病院 消化器内科 八尾 優太

2.【演題】

「胃型の低異形度分化型腺癌の一例」

国立病院機構岡山医療センター 消化器内科 梅川 剛

3.【演題】

「胃底腺粘膜型腺癌の一例」

順天堂大学医学部 消化器内科 中村 駿佑

4.【ミニレクチャー】

「胃拡大内視鏡：読み方シリーズ（3）Microsurface pattern」

福岡大学筑紫病院 臨床医学研究センター 八尾 建史

～休憩～

5.【演題】

「制酸薬投与により内視鏡所見が変化した十二指腸腸型腺腫の1例」

大分赤十字病院 消化器内科 辛島 誠伸

6.【演題】

「NBI併用拡大観察で癌と診断可能であった非乳頭部十二指腸癌の1例」

福岡大学筑紫病院 消化器内科 松田 恵伍

7.【演題】

「“GLOMUS-LIKE LESIONS” OF THE GASTRIC FUNDIC TYPE MUCOSA: A NOVEL ENDOSCOPIC SIGN OF AUTOIMMUNE ATROPHIC GASTRITIS」

Yaroslavl Regional Cancer Hospital Roman Kuvaev

【第34回九州胃拡大内視鏡研究会 視聴参加お申込み】

お申込み期間

2026年2月28日(土) 13時までにお願いいたします。

参加申込方法

URLかQRコードいずれかの方法でお申込願います。

URL

QRコード

<https://www.olympus-medical.jp/events/kyushuikakudai20260228>



上記URLからサイトにアクセス

QRコードを読み取る

ご登録と参加費のお支払い

メールアドレスは正確にご入力ください。

参加お申込登録後、受付完了メールをお送りします。届かない場合は、受付エラーとなります。

JP-fukuoka-kikaku@olympus.comよりメールが配信されます。

※メールアドレスの誤入力、迷惑メール設定等により受信が確認できないケースが報告されておりますのでご注意ください。

二重登録をご注意ください。(二重登録を確認した際は事務局よりメールにてご一報申し上げます)

登録完了メール

2月22日(日)17時までにお申込みいただいた方
別途、【2月25日(水)までに】WEBご参加用URLをお送りします。

2月22日(日)17時以降にお申込みいただいた方
登録完了メールに記載されたWEBご参加用URLよりご入場ください。

講演中の録音・録画・撮影、参加費未払いの第三者による視聴は、固く禁止させていただいておりますので、ご承知おきください。

■お問い合わせ先

オリンパスマーケティング(株) 九州胃拡大内視鏡研究会事務局代行
九州エンドスコピ－ 担当：斎田・梶川

✉ JP-fukuoka-kikaku@olympus.com

<共催> : 九州胃拡大内視鏡研究会
オリンパスマーケティング株式会社